

## JP130 石鎚山系 (いしづちさんけい)

愛媛県：新居浜市、西条市、久万高原町

高知県：いの町、仁淀川町

位置	N 33° 44′ E 133° 09′
面積	12,000ha

### 環境構成【森林（落葉広葉・針葉）／ササ原】

西日本最高峰の石鎚山（標高 1,982m）を中心とする山岳地帯。標高 1,000m 以下はスギやヒノキの人工林が多く、1,200m 付近からブナが生育し、特に石鎚山南斜面にまとまったブナ林が存在する。標高 1,700m 以上にはシラベが生育し、岩場にはイワカガミやマイヅルソウなど亜高山性の植物が多数見られる。急峻な石鎚山に対し、周辺の瓶ヶ森、笹ヶ峰などの山頂付近はなだらかでササ原が広がる。



写真提供：山本貴仁

### 選定理由

A3

-

### 保護指定

サイトの全域（90%以上）に法的な担保がある

<保護指定の内容>

国指定鳥獣保護区（石鎚山系）、国定公園（石鎚国定公園）、自然環境保全地域、保護林

<その他>

国指定名勝面河溪

### 保全への脅威

- ・ 高標高域でのニホンジカ、ニホンザルの増加。
- ・ 登山者の増加。
- ・ 標高 1400m 付近まで、戦後の拡大造林で植林されたスギ・ヒノキの林があり、単調な植生となっている。（適切な管理、樹種転換が行われることで、自然環境が改善される可能性がある。）

## 鳥類の個体数、生息環境の現状

- ・ IBA サイトにおける重要な鳥類（IBA 選定基準種）の個体数の変化  
カヤクグリ、コマドリは減少、ヤマドリは変化なし。
- ・ IBA 基準種の個体数のカウント調査実施の有無：無
- ・ IBA 選定基準種の個体数に影響するような、IBA サイト内の重要な生息環境の変化：  
変化はない
- ・ IBA 選定基準種の生息環境：  
良好（全域、もしくは 90%以上が最適の状態）
- ・ IBA エリアの保全管理計画の有無：有

## **保全活動**

- ・ 環境教育活動：実施者（日本野鳥の会愛媛、特非 西条自然学校）  
内容：石鎚山系での自然観察会、探鳥会の開催。
- ・ 保全のための人材育成活動：実施者（ 特非 西条自然学校）  
内容：エコツアーガイドの養成。
- ・ モニタリング調査：実施者（ 個人 ）  
内容：モニタリングサイト 1000 森林（石鎚山）・草原（瓶ヶ森）の鳥調査
- ・ 経済活動を通じた保全（エコツーリズム等）：実施者（特非 西条自然学校）  
内容：石鎚山系、瓶ヶ森での自然観察ツアーの開催。

## IBA サイトの保全に関する地域のグループ

- ・ 日本野鳥の会愛媛

## 見られる鳥

石鎚山山頂付近にはビンズイ、カヤクグリ、ルリビタキ、メボソムシクイ、ホシガラスなど高山性の鳥が生息している。これらは南限の個体群として重要。

留鳥	クマタカ、ヤマドリ、キセキレイ、アオゲラ、オオアカゲラ、ビンズイ、ミソサザイ、カヤクグリ、トラツグミ、ウグイス、ルリビタキ、シジュウカラ、ヤマガラ、コガラ、ヒガラ、ゴジュウカラ、カケス、ホシガラス
夏鳥	ヨタカ、アマツバメ、アカショウビン、カッコウ、ツツドリ、ホトトギス、コマドリ、クロツグミ、コルリ、メボソムシクイ、オオルリ、キビタキ
冬鳥	アトリ
旅鳥	マミジロ

## 関連団体・自治体・施設等

- ・日本野鳥の会高知支部
- ・日本野鳥の会愛媛
- ・面河山岳博物館

